

大池けいあい保育園 PRESENTS

劇団

さんぽ

観劇会



あらすじ

「大変だ！

お月様の元気がないらしい」
動物たちが山の広場に集まって
相談を始めます。
お月様に元気になってもらおうと
十五夜の晩に出し物大会をすること
にしました。
しかし、うかない顔のイノシシ。
「どうしよう、僕は何もできない」
ついに泣き出してしまいました。

福岡の昔話
イノシシと月

脚本・演出 西上寛樹
振付・音楽 西村りな

劇団
IPPO...NIHO...さんぽ

おつきさま
なにをみて
わらった？
わらった？

福岡の劇団が
福岡の竹を使って演奏し
福岡の昔話を演じます
山へ登り
山で火を囲んで語り
山へ竹を切りに行く。
役者達が自然を感じ
山から様々なことを学びながら創りあげた作品です。

この劇はワイワイ観てほしいな。
みんなの顔もこの劇のいちぶですから。
そして、ガヤガヤ観てほしいな。
思わず飛び出した言葉は、この劇の大事なセリフです。
ちょっとぐらい立ち上がっても平気。体が動けば心も動きます。

日時： 11月25日(金)10時～10時45分

場所： 大池けいあい保育園ホール **参加無料**

子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしましょう

定員： 申込み先着 20組 ※コロナ感染予防で人数制限しています

【申込み・問合せ】

大池けいあい保育園 ☎ 092-408-4087 Eメール ooike-hoiku@sawara-fukushikai.org

ホームページの「資料請求・お問合せフォーム」からでも OK →



ご参加の方の当日の撮影、録音はご遠慮いただきます。ご理解・ご協力をお願いいたします。